

財団法人 駒場松桜会 東京都目黒区大橋 2-18-1
都立駒場高校仰光寮 TEL (466) 7579 振替口座東京28486

4月11日(火) 雁の寺 日生
5月15日(月) 東宝カプキ
6月10日(土) 前進座 出雲の阿国 東横
7月8日(土) 松竹新喜劇 演舞場
ご同好の方々をお誘いあわせ
おとください。



創立七十周年に思う

昭和四十六年度も年度末を迎えて、駒場高校第二十回生卒の卒業を見ることに なりました。本校が蘇布に開設されたのが明治三十五年（一九〇二）ですから、開校以来二十七年の歳月を経 過したことになります。

十年前の昭和三十七年に、現校舎の落成を記、それを期に六十周年記念の行事が盛大に催され、立派な記念館がまよめられました。が、



心のあるかひしひしと感じ、その重圧感に打ちたれた記憶がたまに蘇りながら

現在、学校をとりきり内外的事情、別してはT.A.術科のことも、芸術科は昨年

示が一難なりとも見られた。戦後の市場の寒業生にとつては食糧料と一体になつてきた保健体育資料・芸

松本校長
宮田
官田

創立七十周年に思う

當時、私も他校の校長として盛況に参加し、今もその盛況が目頭に浮べられ、十年前の昭和の再現に望むべくもありませんが、多額の経費はかりきれぬ中、記念の装飾の刷新につきまれた苦悶が、一つになって記念念のため

七十年前の再興に望むべくもありませんが、多額の経費はかりきれぬ中、記念の装飾の刷新につきまれた苦悶が、一つになって記念念のため

豊太郎

度末に母の妾が落し、その間に仲居の音楽科、美術科が独立して學級編成されたことが獨立した原因となつた。今午に續けましたが、今年分分離することになりました松坂会にとっては來年度から卒業生は普通科、保体科だけということになります。

ある意味では、來年度の第三

高女の昔の姿に少しでも近づくことになりまし

れども一歩の暮らしを變ぜざるまでもいらねえよ。四十三六年度松坂会の總會で卒業生の新校の一角、音響科の合奏室聞いたのが、幽暗な校と芸術高校の公式には最後のかわりとなりましては無礙軍です。

分家して行く芸術高校の前途を視るとともに、松坂会が本年の新卒生を迎入れたが、今後益々隆々たる程を切望いたします。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

について

の費用として、百五十万円にむかふる母校に
 学校費として、百五十万円にむかふる母校
 の費用として、百五十万円にむかふる母校

新入会員の声

[illegible]

学 園 祭 9月23・24日(十・日)

「守られることもなく、
失われることも恐ろしく
ない。含み笑ひながら
としか感じられない胸
の生活もある年が身
にあたり、そのあたり
みてわかるだろう。」
「こゝその時に同窓会
委員、きつと不信の
（？）で立ち直らせてく
ださいます。」

普通科 元みちち
三年間も、もうすぐ
ろうとしてゐる。卒業
して、ひとりで同窓会
ならぬ。同窓会なき
実感がわかないのが本
ところである。ありが
たう十年かたに。ありが
たう。そんなものが
ない。いかにも分別
思ふ。

音楽科 岡部ゆず子
三年生の激しい真摯な姿に
感動した私が今、卒業し
てゆく、駒高高校音楽科の
最後の生徒である。

普通科 保体科の人道と
交流の少なかった私達だが
今は駒高の生徒であつたこ
とを誇らしく思つてくれ
よう。

「音楽科」と特別視され
たり、生徒会の仕事等ま
ごころの言ひに言ひた
つてこの道の一つの事実
（経験）として、いつまで
もつづいてくるのはどう
しようもない。

普通科 同窓会入会に
しても、懇談を書くはずだ
つたのだが、どうもよくわ
からなかつた。口ばかり書い
てしまつたやうであつたか
らず。

新名簿

42年まで発行いたしましたので、これから四年余りたらず地番、住居表示等も大分変わり既便番号の記入も加わりましたので、今年秋までに新第2期第1回の発行の予定にいたしました。今回は、今年秋までに新第2期第1回の発行の予定にいたしました。今回は、今年秋までに新第2期第1回の発行の予定にいたしました。

新名簿発行

平に発行いたしました。定価は何分人数もふえ、諸
 位年余りたち拙著、住物価もあがりましたので
 水等も大分變つて郵便
 の記入も加わりました
 今年秋までに新名簿
 予定にいたしました

一部 千三百円位
 (送料共)

■ 駒24回クラス幹事 ■

- | | | | | |
|---|----|-------|------|-------|
| 1 | ホム | 千葉 | 宏 | 鈴木真知子 |
| 2 | " | 渡辺 | 裕夫 | 中川登美子 |
| 3 | " | 山内榮五郎 | | 野口 敦子 |
| 4 | " | 鈴木 | 剛 | 松島由美子 |
| 5 | " | 佐藤 | 幹夫 | 沢田 珠代 |
| 6 | " | 柳 | 武仁 | 西村 佳子 |
| 7 | " | 渋谷 | 行弘 | 菅野恵美子 |
| 8 | " | 鈴木 | 弘孝 | 牧野治世子 |
| | | 栗体科 | 安藤 猛 | 浅川 澄子 |
| | | 芸 | 未 定 | |

の尊き、哀しめてがわかれかけてゐなうして私を覚え、社会の中に居る個人に於ける責任の重さを説くは、この胸病の校のおかげに出来ない。

この境で得たよを持ち続け、未来に向つて、ひたひた、ゆるい進んでゆきたいと思ふ。

維持会費について

去る二十八年駒場駒場学園設立の際十九年以降同窓会費として終身会費四円を納めてまいり、十数年運営してまいり、十数年に於ける諸物価騰貴、会員増加に伴ない止むを得ず四十二年から一回、会費を上げて第三十一年維持会費に上り、方々々々一年に二百円納めていたが、この年総会で諸費取可決したため、個人でも不足額で、とめて一年分なり便宜上二年、五分分ととめて納めて下さい。連絡しなせん、個人でも可ま

